

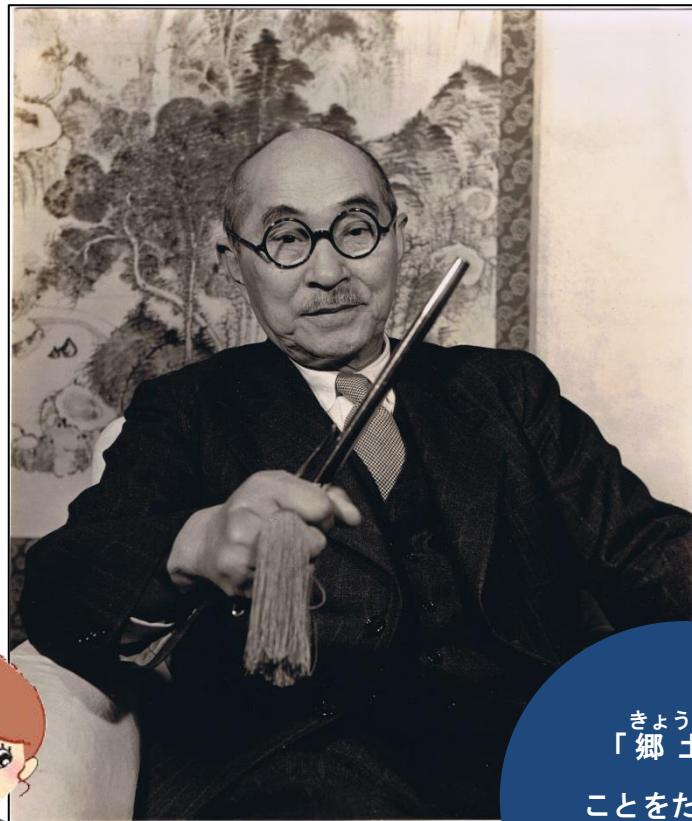
岩手県立図書館 子ども向け



きょうどしりょう
郷土資料

vol.3

のむら こどう
野村 胡堂



きょうど
「郷土」の
ことをたくさん
知ろう！

きょうど
「郷土」とは
生まれ育った
ふるさとの
こと！



はじめに

べんきょう
キライ!!

昔の人のことなんか
知らなくても
よくない?!

さんせいーい!

ブラリー

1

2

どこが
大事なの??

しかくい?

そんなことないよ!
昔があるから今があるんだ。
大事な事なんだよ!!

ブックポスト

ポストン

そめちゃん

3

4

それはね...

大人の話は
むずかしいので
わたし
私 たち子ども向けの
しりょう
資料を作ったよ!
いっしょ
一緒に見ていこう!

ポストン
大人
なんだ...

ブックポスト

野村胡堂は江戸を舞台に岡っ引の銭形平次が活躍する小説『銭形平次』で有名です。明治40年(1882)10月に生まれ、明治45年(1912)30歳の時に報知新聞社(報知新聞社)に入社します。そして新聞記者として働いていた昭和10年『文藝春秋オール読物』創刊号に「銭形平次」の目録を発表します。町人や貧しい人に愛された作風は多くの読者たちを魅了し、たちまち人気となります。野村胡堂にはもうひとりの顔があります。クラシック音楽がまだ一般的でない大正から昭和の初めころに、クラシック音楽の感動

目次

のむらこどう 野村胡堂ってどんな人?	1
たんじょうから少年時代まで	2
こどう 胡堂の青春 ~文学となかまたち~	3
ちゅうたい 大学を中退し新聞記者へ	4
ぜにがたへいじとりものひかえ たんじょう 代表作『銭形平次捕物控』の誕生	5
こどう いんたい 胡堂、作家生活を引退	8
こどう しょうがいささ ふじん 胡堂を生涯支えたハナ夫人	9
のむらこどう もっと野村胡堂を知ってみよう	10
のむらこどう ★すごろく★野村胡堂・あらえびすのかつやく	12
のむらこどう 野村胡堂年表	17
さんこうしりょう 参考資料	19
きょうりよく 協力	21

のむらこどう 野村胡堂ってどんな人？

のむらこどう 野村胡堂

明治 15 年(1882) – 昭和 38 年(1963)

大正・昭和時代の小説家。本名は野村長一。

紫波郡大巻村(現在の紫波町彦部)生まれ。

明治 45 年報知新聞社に入社。記者から作家と

なり活躍する。代表作「銭形平次捕物控」は

人気となり、50 巻 383 編まで 26 年間続いた。また、「あらえびす」のペン

ネームで音楽評論家としても活躍。昭和 33 年菊池寛賞受賞。昭和 34 年

に紫波町第一号の荣誉町民となる。昭和 35 年紫綬褒章受章。昭和 38 年

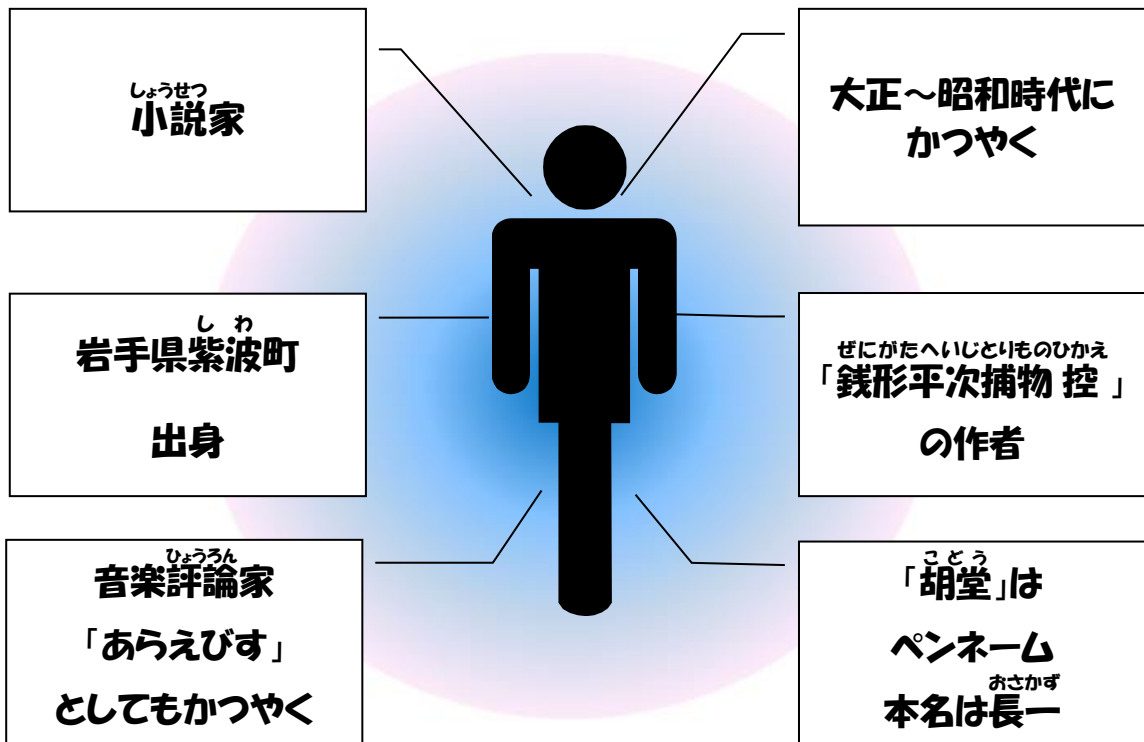
2 月、私財約 1 億円を資本に野村学芸財団を設立。同年 4 月肺炎により 80

才で亡くなる。死後、従四位勲三等瑞宝章を贈られる。

紫波町に「野村胡堂・あらえびす記念館」がある。



(提供：野村胡堂・あらえびす記念館)



ブラリー
わかった？



しょうせつか！

たんじょうから少年時代まで

野村胡堂^{のむらこどう めいじ}は明治15年（1882）10月15日、地方政治家^{ちほうせいじか}をしていた野村長四郎^{のむらちやうしろう}の次男として生まれました。長男が早くに亡^なくなったため、次男ですが「長一^{おさかず なづ}」と名付けられ、長男として育てられました。



野村胡堂が生まれた家



（提供：野村胡堂・あらえびす記念館）

野村家は江戸の頃から続くと言われる地域の名家で、大きな農家でした。父の長四郎は村人からの信望が厚く、32才で彦部村助役となり、長岡村の村長を経て44才で彦部村村長に就きました。



この時代の岩手県紫波郡 どんなところ？

胡堂の生まれた岩手県紫波郡大巻村（現在の紫波町彦部）は、散居（散らばって民家があること）の風景が広がる、のどかな田園地帯でした。当時の岩手は鉄道（東北本線）が上野から一関まで走っていましたが、電気はまだひかれていませんでした。



本好きだった少年時代

明治22年胡堂が7才のとき、彦部尋常小学校に入学します。父が読書家だったため、胡堂は小さいときから本に親しみます。いじめられっ子だった胡堂は、高学年になったある日、帰り道で読んだ本を、いじめっ子たちに面白おかしく語って聞かせます。すると、一転して一目おかれる存在になりました。『三国志』や『八犬伝』、『水滸伝』、『義経一代記』などたくさんの本を読んでいたことが、胡堂を救ったのです。

みんなは読んだことあるかな！？



ことう 胡堂の青春 ～文学となかまたち～



のむらことう
野村胡堂が14才のときに入学した
学校が「岩手県立盛岡中学校」。
20才で東京に出るまで、なかまたちと
いっしょに学びました。



がっこう!

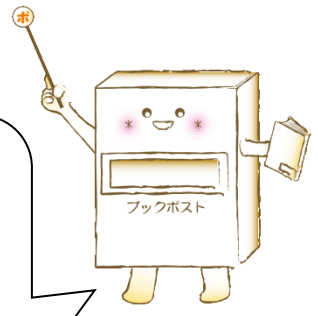


のむらことう
学生時代の野村胡堂

(提供: 野村胡堂・あらえびす記念館)

★岩手県立盛岡中学校はこんな学校!★

ことう
胡堂が入学したころは「岩手県尋常中学校」でした。明治34年から「岩手県立盛岡中
学校」になりました。当時、県で唯一の中学校でした。
げんざい
現在の名前は「岩手県立盛岡第一高等学校」です。



文学をたくさん学んだ学生時代

ことう
胡堂は盛岡の名物塾である猪川塾いかわじゅくに入学し、漢学かんがく（中国の学問）を勉強します。また、「杜陵吟社とりやうぎんしゃ」という俳句グループはいくを同級生・仲間と結成し、活発に活動しました。また、胡堂は俳句だけでなく小説もこの頃ころに書いていました。

★ なかまたちも有名人! ★

よないみつまさ
米内光政
【1880-1948】
かいぐんたいしやう
海軍大将・首相。
もりおか
盛岡中学では胡堂の
せんぱい
先輩で、生涯信頼し
あった仲でした。

きんだいちきやうすけ
金田一京助
【1882-1971】
同級生。アイヌ文学研究家・言語学者。学生時代は花明と号して短歌のリーダーだった。終生胡堂とは親友同士でした。



いしかわたくぼく
石川啄木
【1886-1912】
はじめ
本名一。文学者・詩人。盛岡中学時代から胡堂と友人でしたが、上京後、たびたび胡堂の世話になりました。

このほかにも同級生に田子一民た こいちみん（後に衆議院議長）、郷古潔ごう こきよし（三菱重工業総帥）、及川古志郎おいかわこしろう（海軍大将）、板垣征四郎いたがきせいしろう（陸軍大将）、上級生に原抱琴はらほうきん（本名: 達、原敬の甥）、などがいました。胡堂の卒業後は宮沢賢治（童話作家）も入学しています。

ちゅうたい 大学を中退し新聞記者へ

もりおか 盛岡中学を卒業後胡堂は上京し、第一高等学校を経て、明治40年、25才のとき、
ていこく 東京帝国大学法学科に入学にします。しかし明治43年、村長をしていた父長四郎が
しんこう 村の振興事業に失敗し、その責任をとって多額の借金を背負います。さらに父が亡
がくひ くなったため学費を工面できず、胡堂は大学を中退することとなります。



大学を辞め仕事を探していた胡堂は明治45年30才のとき、もりおか 盛岡中学時代の友人安村省三の紹介で、
ほうちしや 報知社（後の報知新聞社）に入社しました。入社後の胡堂は持ち前の粘り強さと真面目さでぐんぐん
ちい 地位を上げていきます。

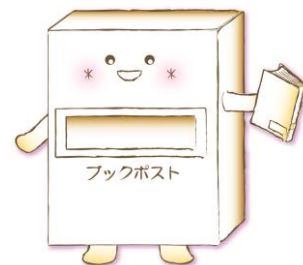


はじめて「野村胡堂」のペンネームを使ったのは…



人物評論「人類館」

ほうち 報知新聞に入社した胡堂は政治部記者となり、当時の
せいじか 政治家たちをたくさん取材しました。大正3年32才のとき、
ほうち 報知新聞政治面に人物評論「人類館」を連載し、そこで初
め「胡堂」のペンネームを使いました。



「人類館」は連載終了後一冊の本にまとめて出版され、胡堂
にとって初めての著作となりました。しかし、思ったままに歯
に衣着せず書いた内容に関係者から苦情が殺到し、この後会社
命令で胡堂の名前で記事を書くことを禁じられてしまいます。

この事件は胡堂にとって苦い経験となりましたが、学んだこともありました。取材のため当時の有名人にたくさん会いにいったことが、小説を書くときの「百人百様の人間像を書きわけける力を培うことにつながった」と後に話しています。



取材した有名人の中には岩手出身の政治家・原敬や後藤新平などもいたよ！

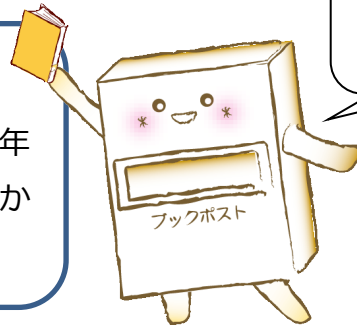
代表作『銭形平次捕物控』の誕生

「人類館」から8年後、胡堂は連載小説を書くよう会社から命じられ、『二万年前』という空想科学小説を大正11年報知新聞に連載します。その後、『奇談クラブ』を連載した昭和2年頃から本格的に作家として活動し、昭和6年には代表作となる『銭形平次捕物控』の連載がスタートします。



SF小説『二万年前』

催眠術をかけられた主人公が二万年前の地球で目を覚まし、生き残りをかけて戦いを繰り広げるSF長篇。



胡堂が書いた初めての小説だね！

ベストセラーとなった時代小説『銭形平次捕物控』

昭和6年、胡堂49才の時、雑誌『オール読物』を創刊するとき編集長から、当時人気だった「岡本綺堂の『半七捕物帳』のようなものを書いて欲しい」と依頼され、誕生したのが『銭形平次捕物控』です。雑誌連載後、「銭形平次」はたちまち人気が出て、同年11月には映画化もされました。胡堂は売れっ子作家となり、「銭形平次」シリーズは26年間にわたり書き継がれるベストセラーとなりました。



『銭形平次捕物控』

主人公は岡っ引の平次。手下の八五郎とともに江戸を舞台に難事件を解決するお話です。

【岡っ引】は別名、御用聞き・目明しともいうよ。町奉行に属した与力・同心の下で、犯罪の捜査や犯人の逮捕にあたった人のことです。

町奉行
江戸の町方の司法・警察・行政
など民政全般をつかさどった

部下

与力

部下

同心

部下

岡っ引



『銭形平次捕物控』のひみつ

- 昭和6年4月号に第1作「金色の処女」を雑誌に掲載してから、昭和32年最終回「鉄砲の音」まで26年間にわたり書き継がれ、50巻383話も発表されました。多くの人に愛され、映画・ドラマ化もたくさんされました。
- 胡堂の捕物帳の特徴は、簡単に罪人を作らず、町人(庶民)に愛情を持ち、侍や遊び人は徹底してやっつける。そして、人を罰するのではなく、すべての人を許す明るい捕物帳であることです。そのため、平次は時に犯人を逃がしてやることもありました。
- 平次の武器は**投げ銭**(銭はお金のこと)。武器の代わりに銭をパッと悪人に投げつける、これは中国の伝奇小説『**水滸伝**』からヒントを得ました。

(野村胡堂著『胡堂百話』「銭形平次」誕生(二)より)

…だが、ただの御用聞きでは、芸がない。いろいろ考えているうちに、ふと浮かんだのが水滸伝である。…そのとき、没羽箭張清が頭にうかんだ。百八人のそのうちでも、小石を投げる名人で、常に錦の袋に入れて腰にさげ、エイッと投げれば百発百中。三万余騎の大軍をひきいた敵の大將、阿里奇さえ、小石一つで落馬させてしまう。これだ、これだ!

しかし、小石のままでは芸がない。泰平の世に、誰でも何時でも持っているもの…となると、銭ということに落ち着かざるを得ない。

普通の一文銭なら軽すぎるが、徳川の中期から出来た四文銭。裏面に波の模様のあるいわゆる波銭ならば、目方といい、手ごたえといい、素人の私が投げてみても、これならば相手の戦闘力を一時的に完封できそうである。



『銭形平次捕物控全集』

杜陵書院 1949 (岩手県立図書館蔵)

『銭形平次捕物控』のひみつはエッセイ『胡堂百話』にくわしく書かれています。『花のお江戸のミステリー』(赤木かん子編 ポプラ社 2001)にも抜粋したものが載っているよ。

読んでみてね!



のむらこどう しょうせつ ◆ 野村胡堂 小説セレクション ◆

ここでは代表的な小説を紹介しします！胡堂の
小説には捕物小説のほかに、子ども向けの冒険
ものや時代伝奇小説などがあるよ。



子ども向けの
冒険小説です。

ほかにもあるよ！



右から
『スペードの女王』
『大寶窟』
『ロボット城』
(野村胡堂全集 第1～3巻)
光文社 昭和25年(1950)



『野村胡堂冒険小説名作選
第4巻』
愛育社 昭和23年(1948)

「岩窟の大殿堂」

昭和5～6年に雑誌『少年世界』
に連載。胡堂の少年現代物長篇
冒険小説の第一作。科学者の大発
明の設計図が隠された暗号を、科
学者の子供たちとスパイ団が
謎解きに挑戦する冒険小説。

「美男狩」

昭和3年、報知新聞に連載。加賀
の豪商銭屋五兵衛が隠した財宝
を謎の美女が探るところからお
話は始まる。やがて舞台は謎の
女が住むお化け屋敷へと移
り…。胡堂最初の大長編伝記
小説。



『美男狩 妖術篇』
高志書房 昭和23年(1948)



『三万両五十三次
第1巻 愛憎篇』
湊書房 昭和24年(1949)

「三万両五十三次」

昭和7～8年、報知新聞に連載。
幕末を舞台に、秘密の命を受けた
者たちが江戸から京まで3万両と
いう大金を運ぶお話。『美男狩』
『銭形平次捕物控』とこの小説の
ヒットにより、胡堂は時代小説作
家としての地位を確立しました。

(全て岩手県立図書館蔵)

こどう いんたい 胡堂、作家生活を引退

精力的に執筆活動を続けてきた胡堂ですが、昭和29年72才のとき、白内障(目の病気)のため入院し、右目を手術します。次の年、再び入院し左目を手術しますが、その後も目の病気が悪化し、昭和32年、『オール読物』8月号掲載の「鉄砲の音」を最後に、長年続けていた『銭形平次捕物控』の連載を終了することとなりました。



その後、胡堂は長年の功績が認められ、昭和33年に菊池寛賞を受賞、昭和34年に紫波町最初の名誉町民となり、昭和35年、紫綬褒章を受けました。

菊池寛賞を受賞した数か月後、胡堂は自宅で転倒し、右足を骨折してしまいます。入院中、人生の引き際をどうするか考えていた胡堂は、野村学芸財団を創設し、また、生涯にわたって収集した貴重なレコードや図書などをたくさん寄贈します。

- 昭和32年1月、東京都にSPレコード7千枚を寄付。
- 昭和37年12月、東京大学史料編纂所に胡堂収集の**武鑑**482冊、江戸切り絵地図14、江戸期の本251冊を寄贈。
- 昭和38年2月、紫波町に記念文庫が設立されるに当たり、著書及び200万円を寄贈。
- 同じ年、若い人材の育成と新しい文化への助成を目的とし、主に奨学金と研究助成金の給付を行う「野村学芸財団」を創設するため一億円寄付する。

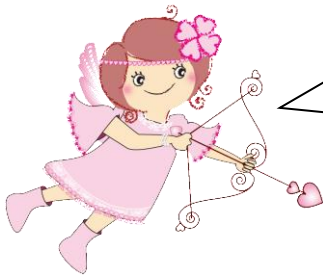
【武鑑】は江戸時代、諸大名・旗本の氏名・系図・住んでい
る城などを記した本のこと。



胡堂は東京帝国大学法科大学の学生の時、卒業を目前としながら、父親が亡くなったことにより授業料が払えず中退しなくてはなりませんでした。その経験から、学問を志す若者を支援したいという願いを持ち、「野村学芸財団」を創設しました。

昭和38年4月14日、胡堂は肺炎のため80才で亡くなりました。胡堂が亡くなった後は八木夫人がその遺志を継ぎ、蔵書3500冊余を日本近代文学館と岩手県立図書館に、『群書類従』『古事類苑』を盛岡市立図書館にそれぞれ寄贈しました。

こどう しょうがいささ ふじん 胡堂を生 涯支えた八十夫人



ベストセラー作家・音楽評論家として活躍した
こどう しょうがいささ
胡堂ですが、そのそばにはいつも陰から支えるハ
ふじん
ナ夫人の助けがありました。



くなん ささ 苦難を支えた野村家の太陽

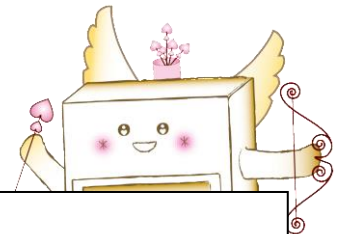
2人の結婚は明治43年、父長四郎の借金を背負いながらの貧しい生活からスタート
しました。結婚式は、そば屋の2階で盛りそば一枚のみ。その日の暮らしに困るような
生活でしたが、ハナ夫人は「希望さえあれば
どんな貧乏も苦痛でない」と野村家を照らす
太陽のように明るく前向きでした。

また、夫の趣味にも理解を示しました。
こどう
胡堂が長年収集したクラシックレコードは
当時とても高価なもので、野村家の家計は
いつも火の車でした。そこで、ハナ夫人は
母校日本女子大学の附属高等女学校の教師と
なって働き、一家の生活を支えました。



こどう
胡堂56才、ハナ50才 十和田旅行
（提供：野村胡堂・あらえびす記念館）

こどう ざっし ふうふ
胡堂は雑誌記事（夫婦げんかについて答えるアンケ
ー）で、ハナ夫人との結婚を次のように話しています。



い くじ 良い籤を引いた

結婚してから四十三年になるが、夫婦喧嘩というものをやった経験は無い。ご質問
に感じかねて、誠に相すまぬようであるが、こればかりは致しかたもない。

四十三年もの長い間を掴み合いも口喧嘩もしなかったのは、多分私は人間が甘く
出来ており、老妻がズルく立ち廻った為めだろうと思う。尤も、仕事のことで、時
には気むずかしいこともあり、年のせいで、些か小言幸兵衛になりかけているが、
老妻は巧みにあしらって、決してこれを喧嘩にはさせない。…

……四十三年前、もり蕎麦で結婚した私達は、もう、日本流に算えて七十一才に
六十五才だ、喧嘩をせずに来たのは、運がよかったのかも知れない。これから先も無事
に平凡に余生を送るだろう。つまりは良い籤を引いたのだ。

（『キング』昭和27年9月号）

もっと

のむらこどう 野村胡堂を知ってみよう

今まで紹介してきたほかにも、^{のむらこどう}野村胡堂を知るための大切なキーワードがあるんです！
とっても大事だから、しっかりおぼえてね。



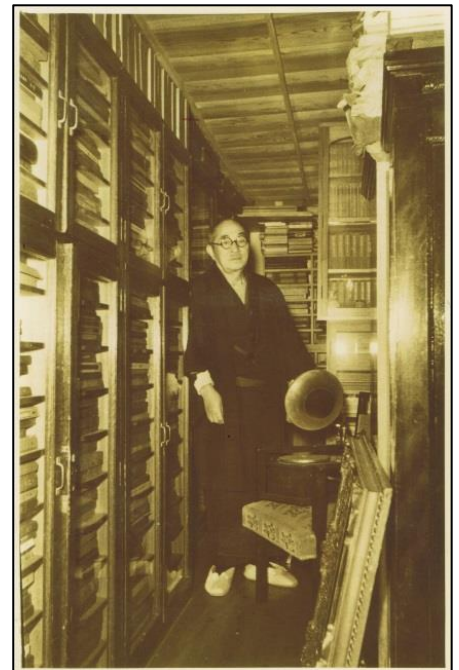
あらえびすとクラシック音楽

胡堂と音楽の出会いは上京してからです。東京でクラシック音楽に初めて触れ、そのとりことなりレコードの収集をはじめます。そのコレクションは2万枚にも上りました。

初めて「あらえびす」のペンネームを使ったのは大正11年40才のとき。報知新聞に音楽会、美術展の記事を書きました。そして、大正13年、あらえびすのペンネームでベートーヴェン「第九交響曲」の紹介批評記事を書き、これが新聞に載った最初の音楽紹介・批評記事となりました。

レコード評論家として『名曲決定盤』『楽聖物語』など9冊の本を出版。クラシック音楽がまだ一般的でなかった大正から昭和時代にかけて、たくさんの人に音楽の感動を伝えました。

「あらえびす」という名前の由来は、胡堂の「胡」からきています。「胡」はえびすとも読み、そこからさらに、やわらかくひらがなで「あらえびす」と名づけました。



2万枚のSPレコードに囲まれて
(自宅にて)
(提供：野村胡堂・あらえびす記念館)



レコードは音を記録した円盤のことで、蓄音機を使って再生します。SPレコードからLPレコードに変わり、現在はデジタル方式のCD（コンパクトディスク）へと変わっています。

岩手県立図書館「野村文庫」

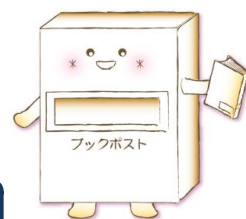


岩手県立図書館
集密書庫内にある
「野村文庫」

昭和 39 年、胡堂の遺志を継いだハナ夫人から、その蔵書の一部が岩手県立図書館に寄贈されました。それらを「野村文庫」として一般図書とは別の棚に置いて管理し、明治 20 年代から昭和 30 年代までに出版された本約 1,300 冊を所蔵しています。

資料の内容は、歴史、伝記、地理、紀行関係が 280 冊、江戸資料及び江戸文化関係が 100 冊、明治の政治及び幕末、維新小説類が 100 冊、詩歌関係 200 冊など、その他古典文学、キリスト教などの宗教関係資料や、哲学関係の本も収集されています。

「野村文庫」の本は、岩手県立図書館の中で読むことができます！



「K子(瓊子)と野薔薇」

4 人の子どもに恵まれた野村夫妻ですが、3 人の子どもを若くして病気で失う悲劇に見舞われます。昭和 2 年に長女淳が病死（享年 17 才）、昭和 9 年には長男一彦（享年 21 才）が、昭和 15 年には次女瓊子が 23 才という若さで病死しました。

あらえびすの著書『音楽は愉し』の中の「K 子と野薔薇」で、次女の瓊子とシュールト「野バラ」のレコードとの思い出を書いています。その中であらえびすは、瓊子が亡くなった時のことについて「私は声をあげて慟哭(悲しみのあまり大声で泣くこと)した。この悲しみは、三人の子を喪ったものだけが知る深刻なものであった。」と語っています。

次女の瓊子は短い生涯のなかで作家としての才能を発揮し、『七つの蕾』『紫苑の園』などの小説を残しました。当時の女学生の間で愛読され、最近も 2012 年に河出書房新社から『すみれノート 松田瓊子コレクション』（早川茉莉編）が、2013 年に真珠書院から『七つの蕾』（パール文庫）が出版されています。

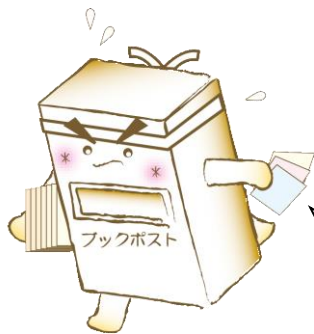


→左から

- 『紫苑の園』（美和書院 1956）
- 『野辺の子等』（新浪漫社浅田書店 1950）
- 『七つの蕾』（中央公論社 1953）
- （全て松田瓊子著 岩手県立図書館蔵）



のむらこどう
★すごろく★ 野村胡堂・あらえびすのかつやく



のむらこどう
野村胡堂のかつやくをすごろく
でふり返ってみよう！！

だれがいちばんに
ゴールできるか
な！？



スタート

大正 11 年(40 才)、
はじめて「あらえびす」の
ペンネームで音楽会、
びじゅつてん
美術展の記事を書く。

大正 11 年、科学小説
「二万年前」を報知新聞
れんさい
に連載。

大正 13 年、ベートーヴェン
「第九交響曲」の紹介
ひひょう
批評記事を書く。

これが新聞に載った最初の
音楽紹介・批評記事となる。

1 つすすむ

大正 13 年(42 才)、
へんしゅう
編集局相談役になり
しゅつぷつ うつ
主力を執筆活動に移す。

1 つすすむ

昭和元年(44 才)、マンガ
絵物語『太郎の旅 月世界の
たんけん 上・下』を刊行。

昭和 5 年(48 才)、
げっかん ざっし
月刊レコード雑誌

『The GRAMOPHIL』を創刊、
「レコードの選び方」を連載。

昭和 2 年(45 才)、
しょうせつ くだん
小説「奇談クラブ」を
ほうち れんさい
報知新聞に連載。



昭和14年(57才)、
あらえびす著『名曲決定盤』
を中央公論社から刊行。



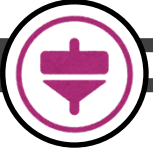
昭和16年
(1941) 第二次
世界大戦起る

昭和19年(62才)
「銭形平次捕物
控」『オール読物』
4月号以降中
断する。
1つもどる



昭和17年(60才)、戦時中、
新聞統合により報知新聞は
読売新聞と合併。これを機に
新聞社を辞め、執筆活動に
専念する。

昭和13年(56才)、
『銭形平次捕物控』
累計100編に達し、
『銭形平次捕物百話』
(全9巻)を中央公論社
から刊行開始。
1つすすむ



昭和12年(55才)、
『池田大助捕物日記』の
執筆を始める。

昭和7年(50才)、
「三万両五十三次」を報知新聞に連載。
銭形平次映画化第2作「七人の花嫁」(日活)。
東京帝国大学法学部緑会主催の
レコードコンサートを始める。
好きな歌の名前を言って、1つすすむ



昭和6年、銭形平次映画化第1作
「振袖源太」を松竹が制作。



昭和6年(49才)、
「銭形平次捕物控」第1作
「金色の処女」を雑誌『文芸
春秋 オール読物号』に発表。
1つすすむ

昭和6年、あらえびす最初の
著書『蓄音機とレコード』を
出版。



昭和 20 年(63 才)、戦争が激しく
なったため長野県軽井沢の山荘に
うつ 移るが、8 月に終戦を迎え、東京
に戻る。

昭和 20 年
(1945) 終戦



昭和 21 年(64 才)、
『銭形平次捕物控』を雑誌
『オール読物』に連載再開。

2 つすすむ

昭和 24 年(67 才)、捕物作家クラブが
結成され、会長に就任する。
『銭形平次捕物控』200 編になる。

2 つすすむ



捕物作家クラブとは？

「団結して一緒に捕物小説を盛んにしていこう」と胡堂や横溝正史、土師清二、城昌幸などの呼びかけで昭和 24 年に設立されました。



昭和 26 年(69 才)

「銭形平次」のラジオの連続放送が
ラジオ東京より開始される。
(昭和 33 年 6 月まで)

昭和 28 年(71 才)、『銭形平次捕物全集』
(全 50 巻別巻 1) を同光社から刊行。
『銭形平次捕物控』は 300 編になる。

となりの人とあくしゅして、4 つすすむ

昭和 30 年(73 才)、

再び入院し、左目を
手術。強度の眼鏡を
使えば、執筆可能な
状態にまで回復する。

昭和 29 年(72 才)、
白内障(目の病気)のため東大病院
小石川分院に入院、右目を手術。

一回やすみ

昭和 31 年(74 才)、故郷岩手県紫波町彦部に
胡堂文庫を設け、著書を寄贈する。

野村胡堂の本のタイトルを 1 つ言って 2 つすすむ



昭和38年、基金1億円で
育英奨学金と学問芸術の
研究援助を目的とする
「野村学芸財団」を
設立する。



ゴール

昭和38年4月14日、
肺炎のため死去。
享年80才。
死後、従四位勲三等
瑞宝章を贈られる。

昭和38年、紫波町に
著書と200万円を寄贈、
記念文庫を設立。



ゴールまでもう少し!

昭和37年(80才)、
武鑑・江戸切絵図・江戸関係図書
などを東京大学史料編纂所に寄贈。



昭和35年(78才)、
紫綬褒章を受ける。



昭和34年(77才)、紫波町
最初の名誉町民となる。



昭和33年(76才)、
第6回菊池寛賞を受賞。
1つすむ



昭和32年、
SPレコード
約7千枚を東京
都に寄贈する。

昭和32年(75才)、
眼疾悪化のため
『オール読物』8月号掲載の
「鉄砲の音」を最後に
「銭形平次捕物控」の連載を
終了する。

胡堂が書いた作品は
「銭形平次」だけで383編、
他作品を合わせるとおよそ
700編にもおよびました。



★やってみよう★

のむらこどう
野村胡堂チャート

こたえは
さいごの
ページ!



ア

イ

スタート

本名はなに?

- ア. おさかず 長一
- イ. じろう 二郎

どちらが盛岡中学の
同級生?

- ア. きんだいちきょうすけ 金田一京助
- イ. たくぼく 石川 啄木

出身校は?

- ア. もりおか 盛岡中学校
- イ. 岩手中学校

はたら
働 いていた
新聞社は?

- ア. ほうちしんぶんしゃ 報知新聞社
- イ. いわてにっぽうしゃ 岩手日報社

イ

ぜにがたへいじ
銭型平次は

- ア. まちぶぎょう 町奉行
- イ. おか びき 岡つ引

はじめて書いた
小説は?

- ア. 二万年前
- イ. きだん 奇談クラブ

ア

こどう じゆしやう
胡堂が受賞したのは?

- ア. なおきしやう 直木賞
- イ. きくちかんしやう 菊池寛賞

あらえびすが
集めていたのは?

- ア. CD
- イ. SPレコード

イ



マスター☆レベル

パーフェクト!
かんぺき! 素晴らしい!

ノーマル☆レベル

ふつう
まあまあできる方

ビギナー☆レベル

もう一回
チャレンジ!

のむらこどう ねんぴょう
野村胡堂 年表

年	才	出来事
明治15 (1882)	0	・10月15日、岩手県紫波郡大巻村(現在の紫波町彦部)に父・長四郎、母・マサの次男・長一として誕生。
20(1887)	5	・彦部尋常小学校に入学。
24(1891)	9	・3月、彦部尋常小学校卒業。4月、紫波高等小学校に進学。
29(1896)	14	・3月、紫波高等学校を卒業。4月、岩手県盛岡尋常中学校(明治34年より岩手県立盛岡中学校。現岩手県立盛岡第一高等学校。)に入学。
34(1901)	19	・父、彦部村村長となる。
35(1902)	20	・3月、盛岡中学校卒業。(旧制)第一高等学校受験のため上京。
37(1904)	22	・9月、(旧制)第一高等学校入学。母のすすめで法科(仏科)に進む。
40(1907)	25	・6月、第一高等学校卒業、東京帝国大学法学科・仏科(現東京大学法学部)に入学。
42(1909)	27	・乙部村長だった父の村おこしが失敗。責任を取り破産したため、長一への送金が途絶える。
43(1910)	28	・3月、同村出身の橋本八ナと結婚。8月、父長四郎が亡くなる。
44(1911)	29	・3月、長女淳誕生。この頃大学を退学。
45(1912)	30	・5月、報知新聞社政治部外交記者として入社。
大正2(1913)	31	・1月、長男一彦誕生。
3(1914)	32	・報知新聞政治面に人物評「人類館」を連載。初めて「胡堂」のペンネームを用いる。8月、初めての著書『傑物? 變物? 人類館』を刊行。
5(1916)	34	・3月、次女瓊子誕生。
9(1920)	38	・10月、三女椋子誕生。この年社会部長となり、報知新聞に「時事川柳」の欄を設けて川柳の新しいジャンルを開く。
11(1922)	40	・「あらえびす」のペンネームで報知新聞に音楽会・美術展に関する記事を書く。
13(1924)	42	・編集局相談役になり主力を執筆活動に移す。7月、「あらえびす」の名で日本に初輸入されたベートーヴェン「第九交響曲」の紹介批評記事を書き、これが新聞に連載された最初の音楽紹介・批評記事となる。
昭和2(1927)	45	・8月、長女淳死去(享年17才)。
3(1928)	46	・長男一彦の療養のため神奈川県鎌倉に転居。
6(1931)	49	・文芸春秋社創刊の『文芸春秋オール読物号』に「銭形平次捕物控」第1作目「金色の処女」を発表。

年	才	出来事
昭和 9(1934)	52	・1月、東京帝国大学在学中の長男一彦死去（享年21才）。
12(1937)	55	・「池田大助捕物日記」の執筆開始。以後、昭和23年に至るまで総計約80編。
13(1938)	56	・「銭形平次捕物控」100編に達し、『銭形平次捕物百話』（全9巻）を中央公論社から刊行。次女瓊子、松田智雄と婚約する。
14(1939)	57	・あらえびす著『名曲決定盤』を中央公論社から刊行。
15(1940)	58	・1月、次女瓊子死去（享年23才）。
17(1942)	60	・7月、戦時下の新聞統合により、報知新聞は読売新聞社と合併。30年勤めた報知新聞を去り、執筆活動に専念する。この年、三女稔子、松田智雄と結婚。
20(1945)	63	・戦争激化により、長野県軽井沢の別荘に移るが、11月東京に戻る。
24(1949)	67	・7月、捕物作家クラブが結成され、会長に就任。「銭形平次捕物控」200編になる。
28(1953)	71	・『銭形平次捕物全集』（全50巻別巻1）を同光社から刊行。「銭形平次捕物控」は300編になる。
29(1954)	72	・白内障のため東大病院小石川分院に入院、右目を手術。
30(1955)	73	・再び入院し、今回は左目を手術。強度の眼鏡を用いれば執筆可能な状態にまで回復。
31(1956)	74	・郷里の岩手県紫波町彦部に蔵書百数冊を寄贈、「胡堂文庫」を設立。
32(1957)	75	・1月、東京都にSPレコード約7千枚を寄贈。8月、眼疾悪化のため、『オール読物』8月号掲載の「鉄砲の音」を最後に「銭形平次捕物控」の筆を置く。総計383編。
33(1958)	76	・3月、第6回菊池寛賞を受賞。
34(1959)	77	・12月、紫波町最初の名誉町民となる。
35(1960)	78	・11月、紫綬褒章を受ける。
37(1962)	80	・武鑑・江戸切絵図・江戸関係図書などを東京大学史料編纂所に寄贈。
38(1963)		・2月、紫波町に著書及び200万円を寄贈、1億円の基金で、育英奨学金と学問芸術の研究援助を目的とする野村学芸財団を設立。4月14日、肺炎のため死去（享年80才）。従四位勲三等瑞宝章に叙せられる。
39(1964)		・1月、八幡夫人、胡堂蔵書の全集・単行本・歴史文献・郷土資料等3,500冊余を日本近代文学館、岩手県立図書館に、『群書類従』『古事類苑』を盛岡市立図書館にそれぞれ寄贈する。

さんこうしりょう 参考資料

<図書>

※書名五十音順

書名 (本の名前)	著者 (書いた人)	発行者 (出したところ)	発行年 (出した年)
岩手百科事典	岩手放送岩手百科 事典発行本部	岩手放送	1988.10
カタクリの群れ咲く頃の 野村胡堂・あらえびす夫人八ナ	藤倉 四郎	青蛙房	1999.2
胡堂伝 百年分の借金をはねのけた男	外崎 菊敏	岩手復興書店	2014.4
書簡に見る胡堂と啄木	野村胡堂・あらえ びす記念館/ 石川啄木記念館	野村胡堂・あらえび す記念館	2001.9
銭形平次を読み解く 野村胡堂・あらえびすの研究	外崎 菊敏	外崎菊敏	2011.8
銭形平次の心 野村胡堂あらえびす伝	藤倉 四郎	文芸春秋	1995.9
父の手紙 野村胡堂に注いだ愛情	八重嶋 勲	岩手復興書店	2013.6
野村胡堂 大衆文学に足跡を残す	野村胡堂・あらえ びす記念館	野村胡堂・あらえび す記念館	2002.9
野村胡堂・あらえびす 「銭形平次」と「音楽評論」を生 んだ岩手の文士	野村胡堂・あらえ びす記念館/ 道又 力	野村胡堂・あらえ びす記念館	2014.5
野村胡堂あらえびす小伝 (岩手の偉人シリーズ 2)	盛岡タイムス	盛岡タイムス社	1995.6
野村胡堂あらえびす小伝	野村胡堂・あらえ びす記念館	野村胡堂・あらえび す記念館	2008.10

書名 (本の名前)	著者 (書いた人)	発行者 (出したところ)	発行年 (出した年)
野村胡堂・あらえびすとその時代	太田 愛人	教文館	2003.9
野村胡堂・あらえびすの研究	岩手堂子会	岩手堂子会	1999.3
野村胡堂・あらえびす来簡集	野村胡堂・あらえびす記念館	野村胡堂・あらえびす記念館	2004.11
野村胡堂からの手紙	藤倉 利恵子	文芸春秋企画出版	2011.10
野村胡堂の作品と「野村文庫」 展示資料目録 特殊文庫展2	—	岩手県立図書館	2007.4
野村文庫図書目録	岩手県立図書館	岩手県立図書館	1982.10
バッハから銭形平次 野村胡堂・あらえびすの一生	藤倉 四郎	青蛙房	2005.11
わたしの野村胡堂・あらえびす	藤倉 四郎	エム・ビー・シー21	1990.9

<新聞>

岩手日報		岩手日報社	
------	--	-------	--

<インターネットなど>

- オンラインデータベース『ジャパンナレッジ』 <http://japanknowledge.com/>
- 野村学芸財団 <http://nomuragz.or.jp/index.html>
- 青空文庫 (作家別作品リスト : No.1670 野村胡堂)
http://www.aozora.gr.jp/index_pages/person1670.html

インターネットの青空文庫は、
野村胡堂の作品が読めます！
ぜひ読んでみてね♪



協力

この資料を作るために協力してくれた
野村胡堂・あらえびす記念館です。
「野村胡堂」「あらえびす」の著書をはじめ、収集した
レコード、書籍などがたくさんあります。

★みんなも行ってみよう★



野村胡堂・あらえびす記念館



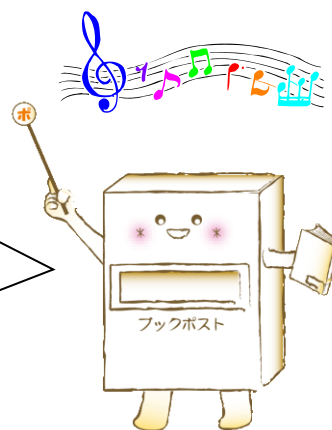
〒028-3315 岩手県紫波郡紫波町彦部字暮坪193-1

TEL 019-676-6896 FAX 019-676-6897

ホームページ <http://kodo-araebisu.jp/>

(平成27年4月現在)

この建物は平成7年、岩手の「南部曲り家」をモチーフに
建てられました。建物の中にはコンサートができる
「あらえびすホール」があり、レコードコンサートも
開かれていますよ！



スゴイ！
見てみたい！！

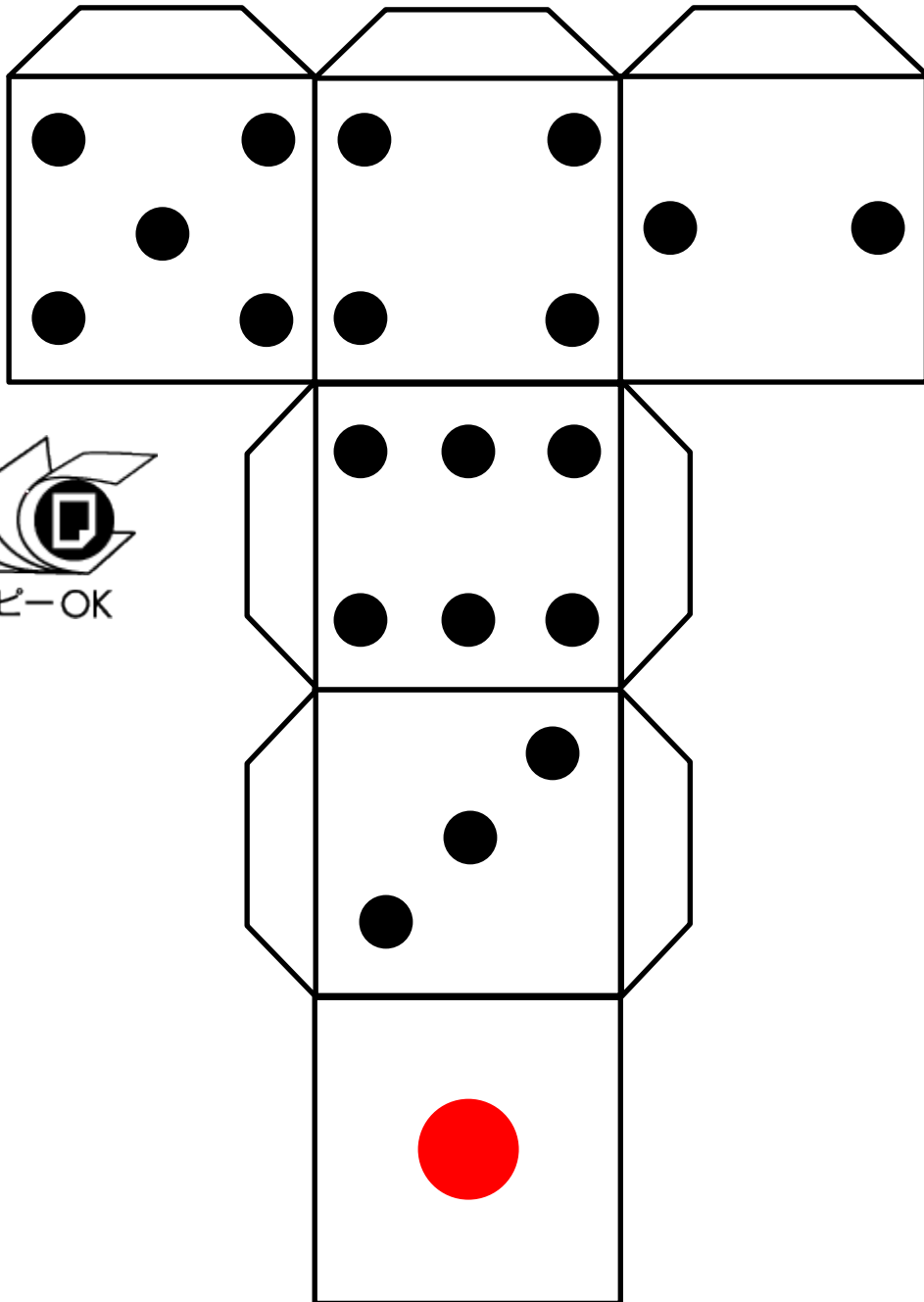


ブラリーも
行くー！！

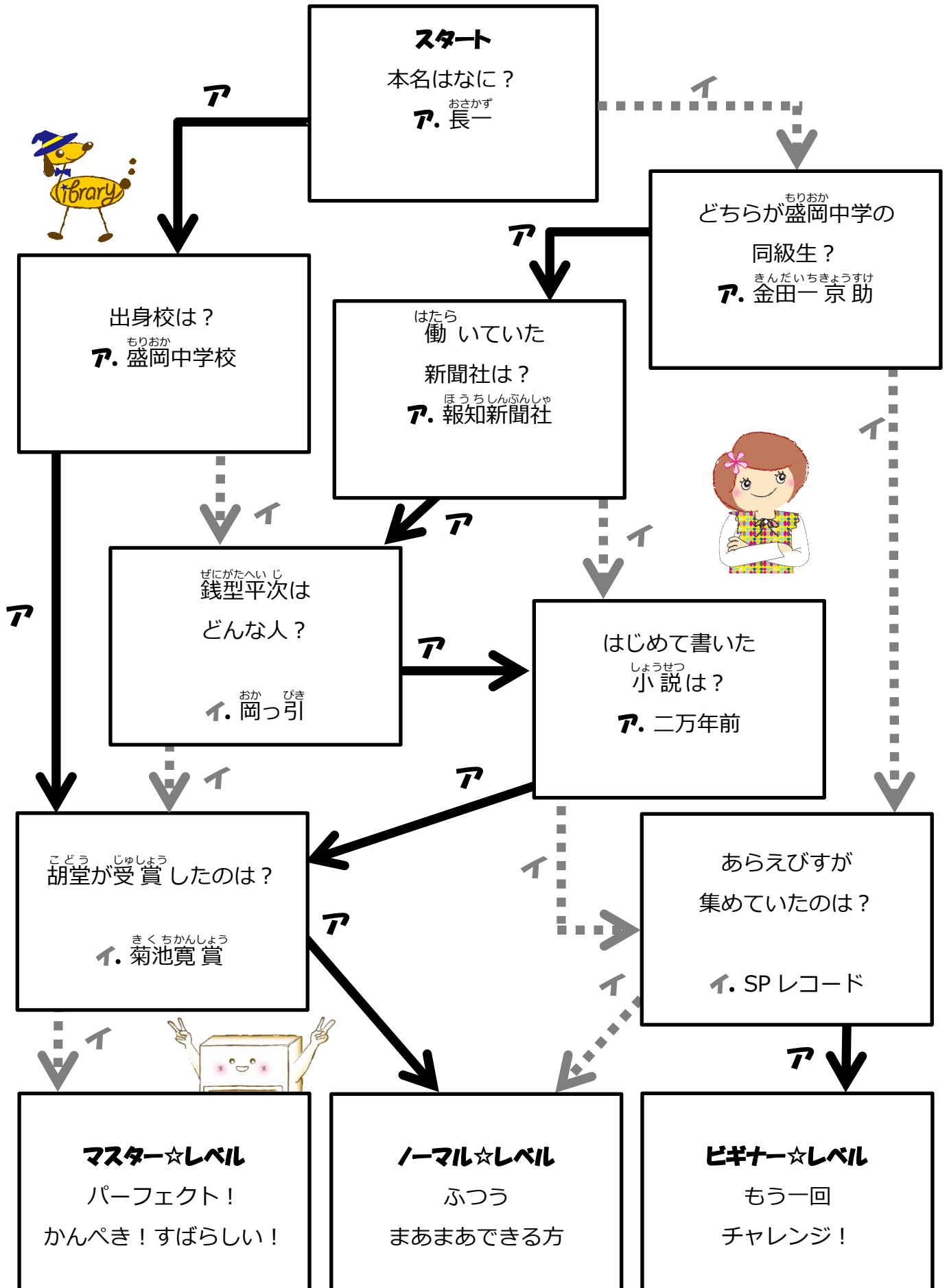


お・ま・け

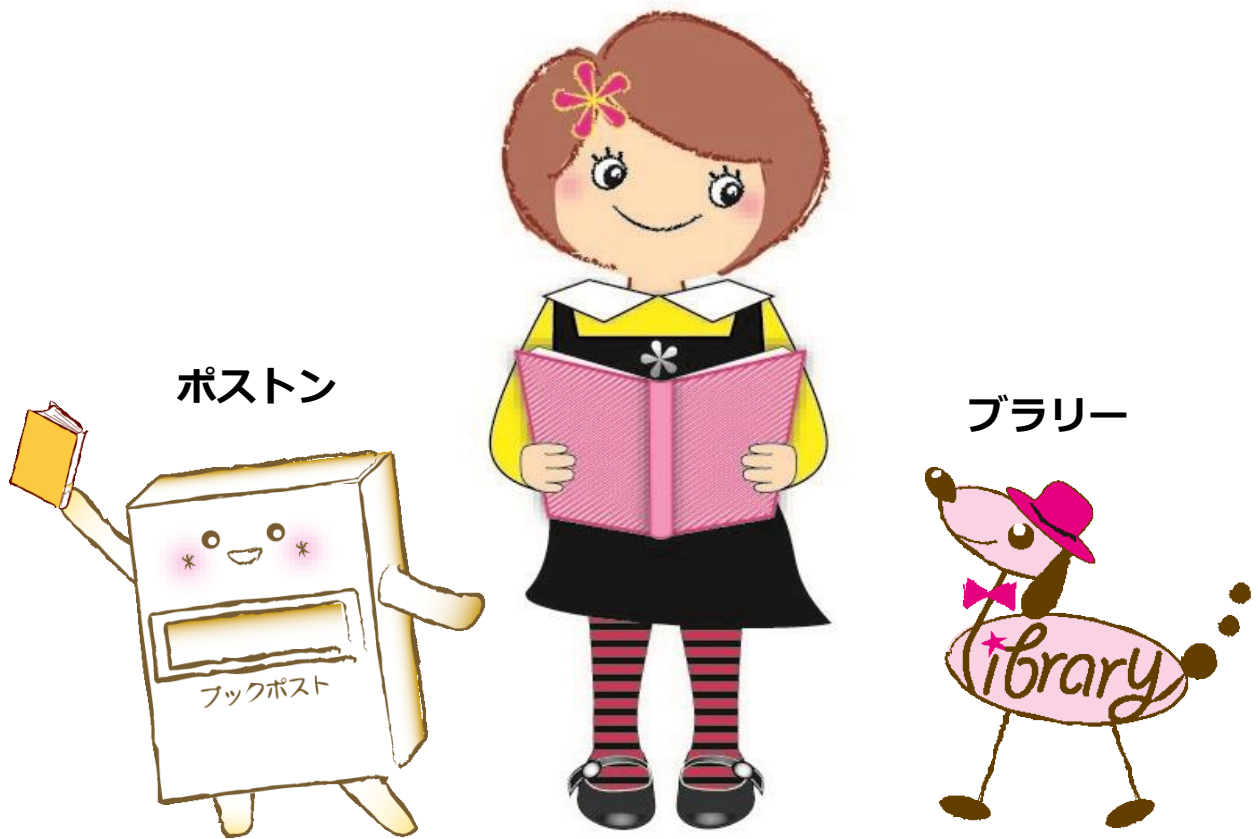
このページをコピーして
すごろくに使うサイコロを作ってみてね。
かたい紙に貼るとキレイに作れるよ！



16ページのこたえ



そめちゃん



ポストン

ブラリー

岩手県立図書館 子ども向け郷土資料 ^{きょうどしりょう} vol.3

^{のむら} ^{こどう}
野村 胡堂

発行年：平^{へい}成^{せい} 27年 4月

発行者：岩手県立図書館 指定管理者